

熊本地震からの創造的復興への「軌跡」

～全国のNN技術職員の皆様へ 感謝の気持ちを込めて～

第8号 平成31年(2019年) 3月29日発行

【目次】

- 復旧・復興トピックス（平成30年度の取組み成果）
- 熊本地震等の農地等災害復旧事業の進捗状況
- 派遣職員からのたより **【拡大版】**
- 広報・広聴活動
- 平成31年度（2019年度）に向けて

がんばるけん！
くまもとけん！



復旧・復興トピックス（平成30年度の取組み成果）

熊本地震関係の主な県営4地区について、平成30年度の取組み成果について報告いたします。

創

阿蘇谷地区（阿蘇市）

～大規模陥没農地（63ha）の復旧、3年ぶりの田植え～

【被災直後】



創造的復興
(大区画化等)

【工事完了（平成30年6月）】



- 大区画化ほ場（50a/枚）は被災前の12haから32haに拡大
- 客土や暗渠排水の機能回復による水田の汎用化、担い手への農地集積

創

秋津地区（熊本市）

～大規模陥没農地（172ha）で営農との調整を実施し、工事概成～

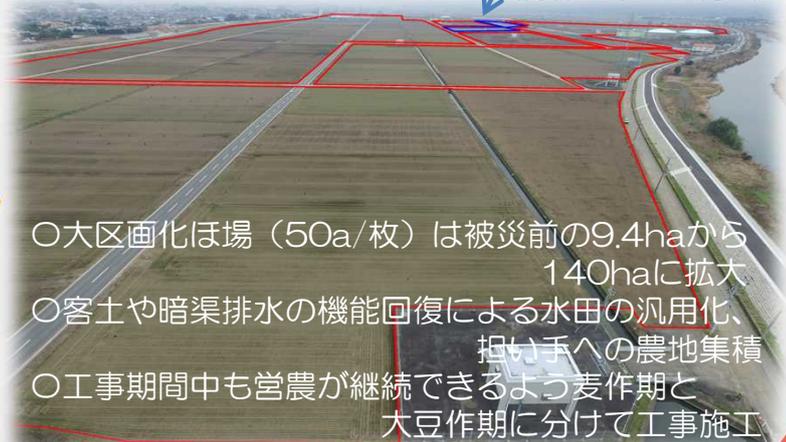
【被災直後】



創造的復興
(大区画化等)

【工事概成（平成31年3月時点 進捗率96%）】

（青線：未着工範囲）



- 大区画化ほ場（50a/枚）は被災前の9.4haから140haに拡大
- 客土や暗渠排水の機能回復による水田の汎用化、担い手への農地集積
- 工事期間中も営農が継続できるよう麦作期と大豆作期に分けて工事施工

創

乙ヶ瀬地区（阿蘇郡南阿蘇村）

～大規模被災農地を県営中山間地域総合整備事業（26ha）で工事着工～

【被災直後】

被災状況



熊本地震により山腹が崩壊し、大量の土砂が農地に堆積
計画区域26haのうち、4haの農地が被災

創造的復興
(大区画化等)

【工事着工】



ICTを活用した
工事を実施

『2019年の営農再開』
に向けて事業を加速化

- 一部で大区画化、標準区画を40aに拡大
- 水田の汎用化による高収益作物の導入
- 担い手への農地集積を促進

創

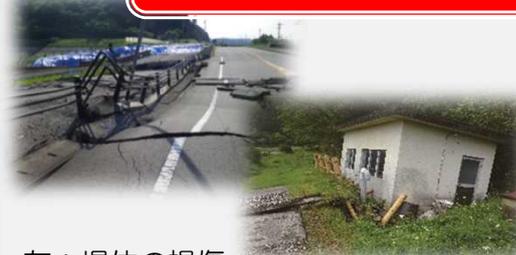
大切畑ダム（ため池）（阿蘇郡西原村）

～大切畑ダム復興事務所を新設、仮排水路工事に着工～

地表地震断層を避け、
安全な上流側へ堤体を移動



『2023年度の復旧完了』
に向けて事業を加速化



左：堤体の損傷
右：斜樋管理室の傾倒



左・右：開所式（平成30年10月）
の開催状況

熊本地震等の農地等災害復旧事業の進捗状況

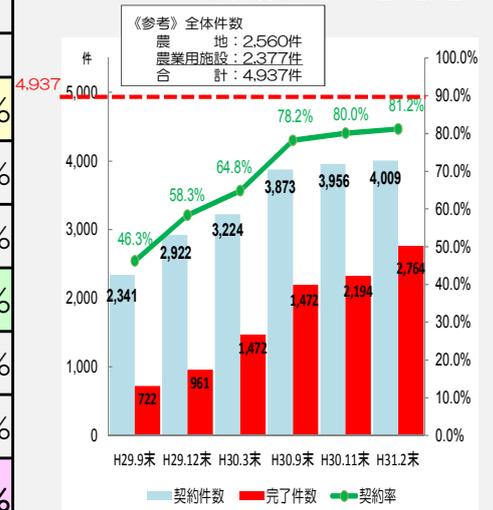
復旧進捗状況

2月末現在の件数とその割合

	復旧予定 件数	契約済み		工事完了	
		件数	契約率	件数	完了率
県営災害 計	183	177	96.7%	73	39.9%
農地	66	66	100.0%	0	0.0%
農業用施設	117	111	94.9%	73	62.4%
団体営災害 計	4,754	3,832	80.6%	2,691	56.6%
農地	2,494	1,972	79.1%	1,379	55.3%
農業用施設	2,260	1,860	82.3%	1,312	58.1%
県営+団体営 計	4,937	4,009	81.2%	2,764	56.0%

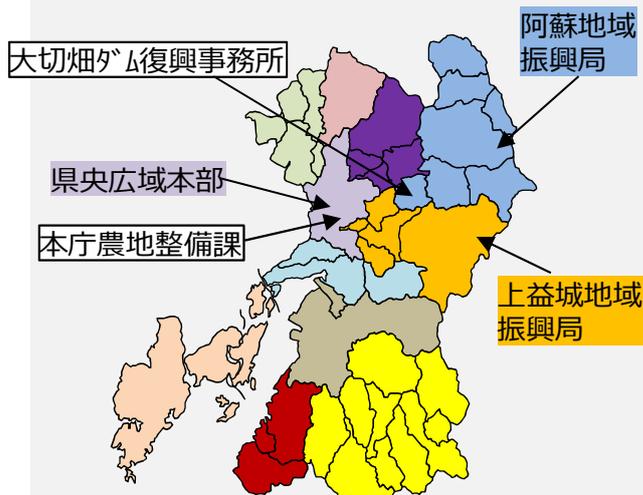
災害復旧工事完了件数及び契約件数の推移

2月末現在の件数（県営+団体営）



派遣職員からのたより【拡大版】

平成31年3月末現在、10名の派遣職員の皆様が本庁及び関係出先機関に勤務されています。今回は、上益城地域振興局に派遣されている3名の方からコメントをいただきました。



派遣場所	派遣人数 (派遣元県名)
本庁農地整備課	1人 (鹿児島県)
大切畑がム復興事務所	2人 (宮崎県)
県央広域本部	2人 (長崎県、鹿児島県)
上益城地域振興局	3人 (岐阜県、兵庫県、沖縄県)
阿蘇地域振興局	2人 (佐賀県、大分県)
計	10人

藤井 孝和さん (写真右)

派遣元所属: 岐阜県農政部農政課
派遣先所属: 上益城地域振興局農林部農地整備課



<現在の業務内容について>

- ・益城町災害復旧受託事業
- ・県営災害復旧事業 (砥川地区)
- ・益城町支援 (団体営災害の計変審査等)

<職場(仕事)環境について>

明るく、楽しい職場です。また、いろいろな意味でにぎやかな職場です。

<今後、派遣で熊本県へ来られる方へのコメント>

熊本は馬肉以外にもおいしい食べ物がいっぱいです。また、市内に住まわせていただいているので、食事(飲みも含め)に行くには最適です。

榮藤 公彦さん (写真左)

派遣元所属: 兵庫県農政環境部農林水産局農地整備課
派遣先所属: 上益城地域振興局農林部農地整備課



<現在の業務内容について>

- ・益城町地区受託事業の橋梁及び用水路復旧工事
- ・甲佐町・御船町の災害復旧事業の事務支援

<職場(仕事)環境について>

- ・熊本県職員は仕事に対する取組姿勢はまじめで、何でも相談できる器がある。
- ・上益城の狭い職場空間は、情報の共有がしやすかった。
- ・「肥後もっこす=頑固者」が多く、仕事の展開に時間がかかる。
- ・事務処理に時間がかかる。

<今後、派遣で熊本県へ来られる方へのコメント>

私は、熊本で干拓をはじめ水に関するいろんな知識を学びました。育った環境とはまた違った環境で学べ、有意義な機会でした。

また、温泉・食・文化など観光資源も多く計画的に行動しないと、熊本そして九州を味わえない。そして、行動する前には職場や近くの人から事前に情報収集することでより楽しめますよ。私のお勧めは、絶対天草に泊まりで行くことです。

<現在の業務内容について>

災害復旧工事等担当

<職場(仕事)環境について>

良い点: 業務がやりやすい環境を整えていただいている。
悪い点: 庁舎が危険である。震度4程度でかなり揺れる。

<衣食住の環境について>

良い点: 马刺がいつでも手に入る。
悪い点: 湿度が高いのか洗濯物が乾かない。

<今後、派遣で熊本県へ来られる方へのコメント>

仕上げは地元調整を密にしたほうがあとくされがないと思います。

有馬 義晴さん (写真中央)

派遣元所属: 沖縄県農林水産部農地農村整備課
派遣先所属: 上益城地域振興局農林部農地整備課



これまで、県関係の本庁及び関係出先機関に勤務されている方々にコメントをいただいていたのですが、今回は県内の市町村で勤務されている県職員3名の方にもコメントをいただきました。



中島 圭菜さん

派遣元所属: 鳥取県 東部農林事務所 地域整備課
派遣先所属: 益城町 復旧事業課

<現在の業務内容について>

益城町平成28年災害復旧工事にかかる発注業務・現場監督・計画変更申請等

<職場(仕事)環境について>

現在、益城町庁舎建て直し中のためプレハブですが、広々としているので快適です。ほぼ災害復旧初心者でしたが、経験豊かな派遣職員や任期付職員、益城町職員のみなさんに支えていただきながら仕事できています。

<今後、派遣で熊本県や益城町へ来られる方へのコメント>

九州外からの自分には方言が難しく聞き取れないこともありましたが、時間とともになんとなく聞き取れるようになりました。



周田 淳さん

派遣元所属: 山口県 農林水産部 農村整備課
派遣先所属: 御船町 農業振興課

<現在の業務内容について>

御船町における団体営農地等災害復旧事業に関する支援業務

<職場(仕事)環境について>

本庁舎とは別棟の会議室を間借りしているような状況ですが、室内は明るく広く、パソコン、プリンター及びコピー機等のOA機器も充実しており執務環境は良好です。

<今後、派遣で熊本県や御船町へ来られる方へのコメント>

今後派遣で来られる方も、気負う必要はありませんが、意識を持って頑張っていただければと思います。御船町の職員の方々は、こちらが恐縮するほど良い方たちばかりなので心配することはありません。



今崎 眞也さん (写真右)

派遣元所属: 長崎県 県北振興局 農林部 土地改良課
派遣先所属: 益城町 復旧事業課

<現在の業務内容について>

平成28年熊本地震災害に係る農地・農業用施設等復旧事業の工事発注及び現場監督業務と計画変更手続き等

<職場(仕事)環境について>

現場が役場から10分~15分と近く、電話で話すより現場に行って話したほうが早く便利です。ただ、公用車やカメラ等の台数に限りがあるため、重なる時は取り合いになります。

<今後、派遣で熊本県や益城町へ来られる方へのコメント>

もうすぐ震災より3年が経過し、今後は復旧から復興へ移り変わる変動の時です。農地復旧はもう少しです、より良い復興に向けて頑張りましょう。

平成28年度以降、多くの技術職員を派遣いただきまして、復旧・復興の加速化が図られました。今後も引き続き、熊本地震からの復旧・復興について、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

2月28日(木曜日)

「平成30年度熊本地震派遣職員研修」を開催

熊本地震に伴う県外からの派遣職員等を対象に、被災の大きかった阿蘇郡南阿蘇村で実施中の災害復旧事業や国土交通省が建設中の中九州道路滝室坂道路(トンネル)、農林水産省が建設した大蘇ダム の現地研修を行いました。



大蘇ダム



滝室坂トンネル



集合写真

3月7日（木曜日）

「平成30年度農業農村整備事業広報大賞 優秀賞」を受賞

全国農村振興技術連盟が主催する「平成30年度農業農村整備事業広報大賞」の優秀賞に熊本県農林水産部農村振興局が選ばれ、去る3月7日（木曜日）、東京都千代田区北の丸公園「科学技術館・サンエンスホール」で表彰式が行われました。

熊本県農林水産部農村振興局が行っている「くまもとの農業農村整備復旧・復興リレーパネル展」「復興便り」などによる情報発信や、県内の農業高校と連携した「参加型学習の機会の提供」を通じた人材育成について高い評価をいただきました。

このような素晴らしい賞の受賞は、関係各位のご支援・ご協力があったのことに改めて深く感謝するとともに、この賞をステップに更に情報発信等の充実に取り組んで参ります。

引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



平成31年度（2019年度）に向けて

平成31年中の営農再開100%に向けて取組みを加速

未曾有の被害をもたらした熊本地震の発生から3年を迎えようとしています。これまで多くの課題がありましたが、関係機関との連絡・調整を密に実施し、着実に復旧・復興が進んでいます。

一方、被災が甚大であった市町村を中心として、不調・不落等の要因により、工事の円滑な進捗に支障を来している箇所もあります。

本県においては、平成31年中の**営農再開100%**に向けて取組みを加速化させています。引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



平成28年に発生した熊本地震からの創造的復興を目指して、平成29年は**ホップ（興）**、平成30年は**ステップ（創）**と着実に歩んできました。平成31年は復興の道筋をその先へと、大きく**「ジャンプ（跳）」**し、「県民総幸福量の最大化」に向けて取り組んでいきます。

各種機会を通じた広報・広聴活動を展開

平成31年度も引き続き、「くまもとの農業農村整備復旧・復興リレーパネル展」「熊本地震復旧・復興に係る報告会（仮称）」の開催、「熊本地震農地等災害復旧記録誌」「復興便り」の発行などに取り組めます。

熊本地震復旧・復興に係る報告会（仮称）
 ※平成30年度の開催状況

【2019年10月開催予定】

 A group photo of participants at a meeting, with an inset showing a presentation slide.

くまもとの農業農村整備復旧・復興リレーパル展
 ※平成30年度の開催状況

平成31年度の開催計画につきましては、追って都道府県と調整させていただきます。

（佐賀県会場）

 A photo of an exhibition booth with various panels and a person viewing them.